

あいさつは「声の大きさ」だけではありません
めざすのは「気持ちをこめたあいさつ」



- まずは教師が率先して、子どもの目をみてあいさつをします。
「やらされる」あいさつから、「伝えたい」あいさつへ。

だからこそ、大人の「言葉」が大切です

1. 一人ひとりの「よさ」を言葉にして伝える

- 子どもが自分で気づいていない場所を、教師が具体的にほめて伝えています。
「苦手なこと」でも、挑戦した姿勢を認めることで、自己有用感を高めます。

2. 目標：「めあて」を達成する

目標：「めあて」を達成する
子どもが自分で気づいていない場所を、教師が具体的にほめて伝えています。挑戦した姿勢を認めることで、自己有用感を高めます。

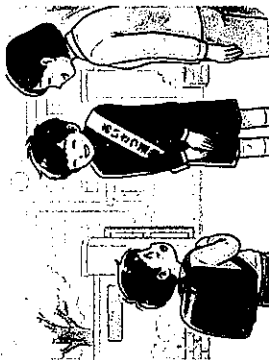
【体】

私たちがめざす子どもの姿

めあてを持って、健康な体づくりができる子



上級生の背中を見て、下級生は育ちます



- 低学年のうちは「恥ずかしい」「声が小さくなる」という子が多いです。
• 委員会活動やあいさつ運動を通して、高学年が「カッコいい手本」を見せることで、自然と学校全体の意識が変わってきています。
／生活委員会を中心としたあいさつ運動へ

これからの重点目標



誰に対しても「優しい言葉」を
相手を感じる言葉や贈ってはいけない言葉など
子どもたちの言葉を振り返る機会を設けます。

揺るがない自信を
知所を含めて、自分を認めてあげられるような声かけ

学年が上がると、「自信」の形が変わります

高学年になると、自分を客観的に見られるようになります。



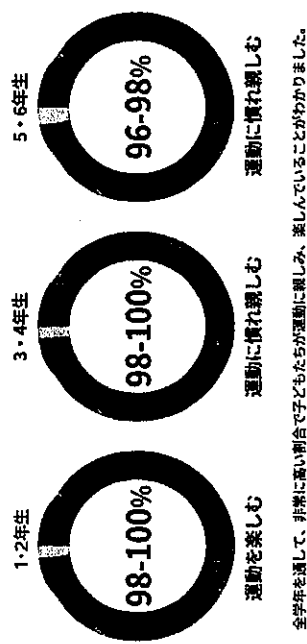
- アンケートでは「自分にはよいところがある」という問いに、謙虚さや恥ずかしさから「自信満々 (A)」と答える子が増える傾向にあります。
• これは「自信がない」のではなく、周りが見えるようになった「成長の証」でもあります。

1年を通した成長のあゆみ



- 1学期：聴く・つなぐ
一人ひとりの思いを聞き出し、安心できる学習の土台を作りました。
- 2学期：深める
運動会や行事を通して、異学年との絆を深めました。
- 3学期：次へつなぐ
1年の成長を振り返り、次の学年への自信を育てています。

運動を楽しむ子どもたち (高い達成率)



天候と運動の課題



9月：猛暑により、外遊びがほとんどできない日が続きました。

冬：寒さにより、外で遊ぶ児童が減る傾向が見られました。

「暑い日や寒い日は外での運動を諦める」という課題に対し、学校としてどのような仕掛けができるかがポイントとなりました。

寒さを吹き飛ばせ！体育委員会の「大縄週間」



低学年「できなかった」児童

2.6% → 1.6%

体育委員会が企画したイベントにより、全学年で外遊びをする児童が増加しました。運動が苦手な子どもも楽しめる工夫が功を奏しました。

© 北海道教育委員会

令和8年度に向けて

よい振り返りの具体例や

「シン・ふりかえりのコツ」を使いこなし、学びの深さを実感できる授業へ。

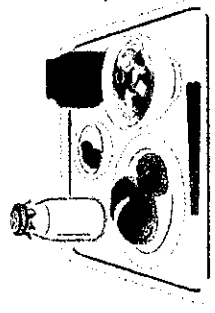


認める意欲かけ
本人が短所と懸念しているところも含めて
自分を肯定できるような声かけ

運動が苦手な子ども楽しめる仕掛けの継続
(委員会活動の活性化)。

© 北海道教育委員会

食育：食べることは、学ぶこと



- ✓ 給食目標を自分で考える
- ✓ 食べ物の大切さを知る
- ✓ 達成率 ほぼ100%

単に食べるだけでなく、「給食目標を自分で考える」プロセスを重視しています。給食クイズなどを通して、食べ物の大切さを学習しました。

© 北海道教育委員会

一人ひとりに合った「めあて」を

課題：低学年の一部で、目標が高すぎて達成できず、自己評価が低くなるケースが見られました。

指導：「自分に合っためあての立て方」を指導。無理なく達成感を感じられるようサポートを続けています。これこそが、食育の成果を持続させる鍵です。



© 北海道教育委員会

地域・保護者の皆様へのお願い



登下校の見守り
通学路での安全な過ごし方も、地域の大人の目でも見守ってください。



あいさつのシャワー
子どもたちを見かけたら、ぜひ大人から声をかけてください。それが自信になります。



外遊びの推奨
休みの日には、公園などで体を動かすよう声をかけをお願いします。

© 北海道教育委員会